

令和4年度事業実績報告及び令和5年度事業 進捗報告

目次

- (1) 脱炭素の暮らしと地域づくり
- (2) 循環型の暮らしと地域づくり
- (3) 自然共生の暮らしと地域づくり
- (4) 安全・安心の暮らしと地域づくり
- (5) その他



令和4年度事業

(1) 脱炭素の暮らしと地域づくり

重点 施策 ②公共施設におけるエネルギー対策

●電力運用最適化

1 取組概要

効率的効果的な省エネ行動を推進するため、デマンドシステムを導入(リアルタイムでの最大需要電力量や使用電力量の測定等)し、その状況を検証する。

* 令和4年8月から支援委託を行い、取組を進めています

2 省エネに向けた主な取組

- (1) 電力使用の「見える化」の実施(毎月掲示板で掲載)
- (2) 空調機・換気の効率的な運用(起動時間の分散化等)
- (3) 細かな省エネ行動(時間外待機電力の削減、便座蓋の対応等)
- (4) 電力モニタリング(デマンドシステム)の設置

アラーム(警報)が鳴った場合に設定温度の変更等の実施

(5) 電力最適化支援

- ・集合教育(研修):8月に管理職向け、一般職員向けの研修
- ・月次レポート:毎月の使用電力量、最大需要電力の分析等
- ・省エネ行動の提案:(2)、(3)の取組の提案

重点
施策 ②公共施設におけるエネルギー対策

●電力運用最適化

3 電力量の状況

(1) 使用電力量

4月-3月使用電力量

12,248,370kwh

R3比**4.6%増**、**R1比△0.3%減**

R3:11,710,341kwh

R1(コロナ禍前):12,283,635kwh

(2) うち市役所庁舎

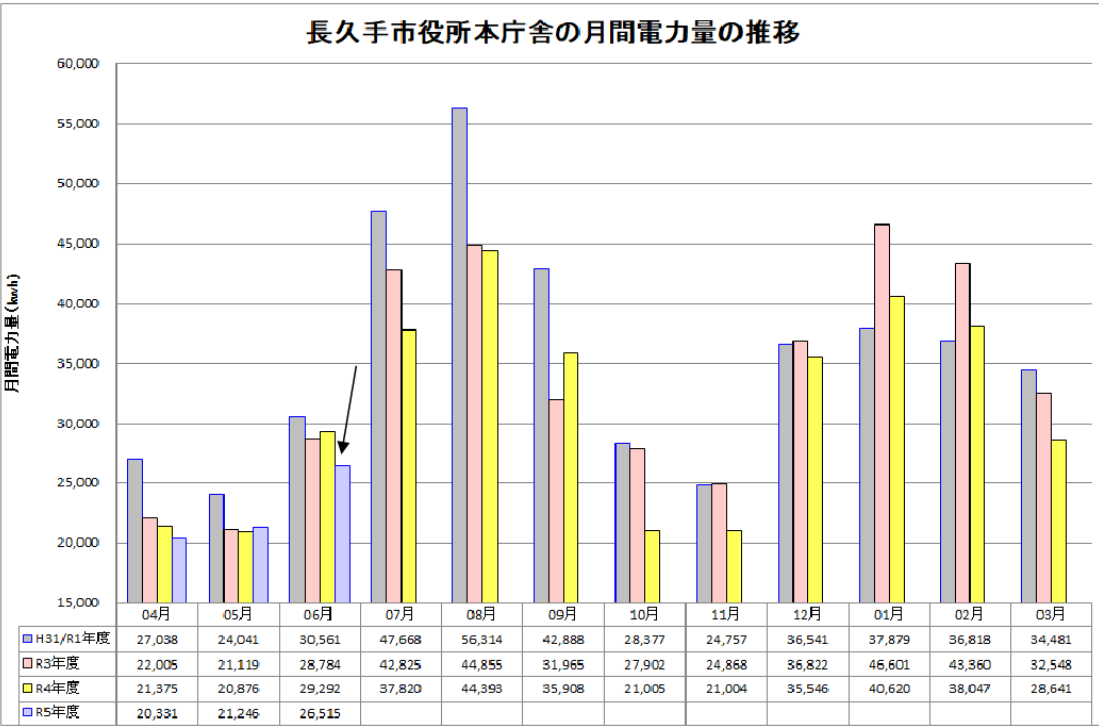
464,804kwh

R3比**△17.8%減**

R1比△15.7%減

R3:565,951kwh

R1(コロナ禍前):551,375kwh



重点 施策 ②公共施設におけるエネルギー対策

●プロジェクトチームの設置

市の事業から発生する温室効果ガスの排出削減と2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、新たな取り組みのアイデア、意見を徴収しました。
(12月、1月に開催)

検討内容

- (1) 温室効果ガスの排出量の削減目標に関すること
- (2) 省エネルギーの取組、計画に関すること。
- (3) 取組、進捗の効果検証に関すること。
- (4) 市民へのPRに関すること。
- (5) その他、庁内のカーボンニュートラルの達成に関すること。

アイデアを元に新たな取組へ

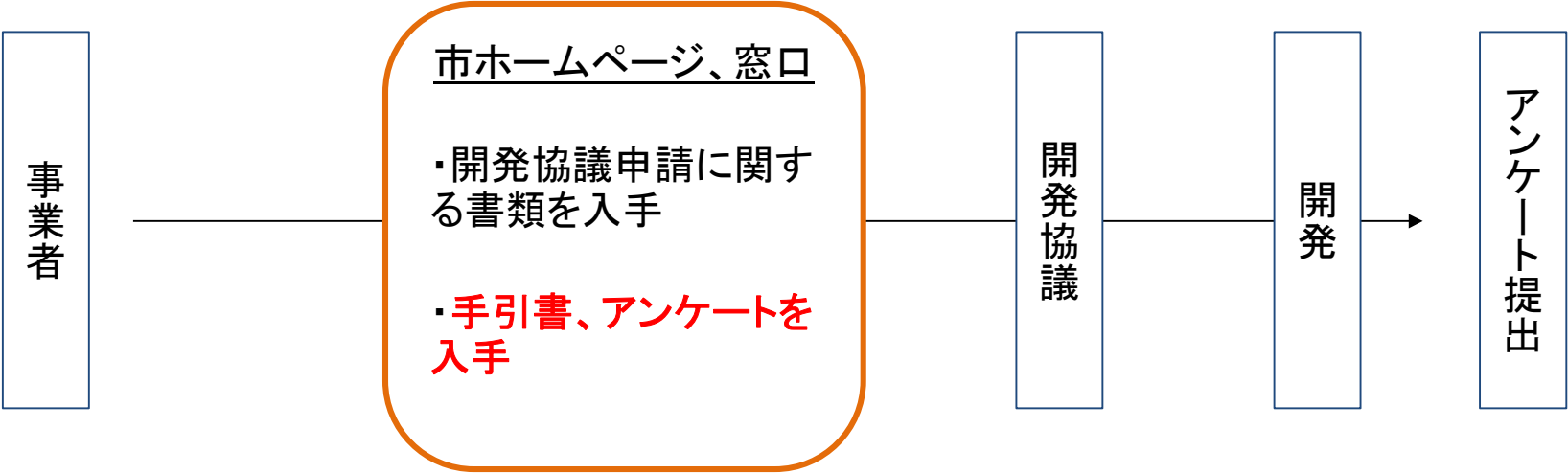
重点
施策

③環境配慮型まちづくり施策の推進

●手引書の普及及びアンケートの回収

公園西駅周辺で実施した環境配慮型まちづくりの取り組みを市域全体に普及させるため、市内での主にハード整備に関する手引書の運用を令和4年1月から開始しました。

手引書を事業者等に普及し、環境に配慮したまちを共に作っていきます。



令和4年度アンケート回答数 8件

(2) 循環型のくらしと地域づくり

① もえるごみ袋増額の検討と方針の見直し

これまで、もえるごみ袋増額を検討していましたが、資源回収拠点の増設などの新たな施策や、ごみ減量の啓発の強化などを優先することとし、今後の方針を見直しました。

方針① 「長久手市ごみ減量・収集アクションプラン」を策定します

方針② 次期一般廃棄物処理基本計画(R6～15)にごみ減量目標や検証時期を明記し、期間を定めてごみ減量状況を検証します

減量目標が達成されなかった場合はもえるごみ袋の価格の増額を再度提案します。

目標が達成された場合であっても常時状況調査を継続して行い、目標から乖離する状況になった場合には価格の増額を検討します。

② 長久手市ごみ減量・収集アクションプラン策定

ごみ減量や分別、収集に関する施策やごみ減量に取り組みやすい環境づくり、啓発強化など、みなさんに受け入れられるよう、17の施策に取り組みます。

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	事業	取組	対象・対応					
収集の充実	①ごみ収集車両の増車	収集時間短縮	各地区3台から5台に増車	● 検討	● 実施			
	②拠点回収用ごみボックスの貸与	収集時間短縮 カラス対策	ボックスの購入、貸与	● 広報	● 実施	● 継続実施		
	③プラスチック製容器包装の毎週回収	収集頻度増加	隔週から毎週	● 検討	※開始時期は未定			
	④ペットボトルの月2回収通年化	収集頻度増加	月1回から月2回	● 検討	※開始時期は未定			
	⑤古紙の月2回収	収集頻度増加	月1回から月2回	● 検討	※開始時期は未定			
	⑥プラスチック製容器包装の指定ごみ袋Mサイズ新設	指定袋の新設	Mサイズ新設、容量検討	● 検討	※開始時期は未定			
	⑦紙おむつの指定ごみ袋新設	指定袋の新設	指定袋新設、容量検討	● 検討	※開始時期は未定			
資源化	⑧分別回収品目の細分化	分別回収、処理	充電5品目の分別回収	● 充電5品目実施	※新たな分別品目を継続的に検討			
	⑨資源回収拠点の増設	回収強化	市管理2か所新規設置 地域管理3か所新規設置	● 検討	● 設置① 設置	※地域管理の拠点を継続的に募集		
	⑩ペットボトルの水平リサイクル	二酸化炭素 排出削減	飲料メーカー提携、リサイクル クーラー契約	● 検討	● 提携	● 実施		
	⑪プラスチック一括回収の検討	分別回収、処理	硬質プラスチックを含めた 一括回収	● 情報収集	● 検討（中間処理工場で設備が整い、資源化ルートが確立され次第周知⇒実施）			
	⑫剪定枝リサイクルの検討	分別回収、処理	剪定枝の資源化	● 情報収集	● 検討（資源化ルートと費用を調査し、実現可能性を検討）			
啓発・意識向上	⑬広報なぐてく特集記事の掲載	情報提供、 周知、啓発	随時対応	● 実施（随時特集記事を掲載）				
	⑭「なぐてくごみ減量通信」の発行	情報提供、 周知、啓発	随時対応	● 実施（毎月発行）				
	⑮環境教育の実施	情報提供、 周知、啓発	随時対応		● 実施（水やペットボトルに関連した子ども向け環境学習）			
	⑯説明会、出前講座の実施	情報提供、 周知、啓発	随時対応	● アクションプラン説明会	● ごみ減量出前講座の継続実施			
その他	⑰食品ロス削減推進計画の策定	計画策定	次期一般廃棄物処理基本計画に 包含	● プロポーザル・契約	● 策定	● 計画期間		
検証スケジュール				● 確認	● 検証	● 確認	● 目標達成 判断 目標未達成	● 検証継続 手数料増額検討

③ 資源回収拠点を2か所拡充

市が管理運営する資源回収拠点を「ながくてエコハウス」「出張ながくてエコハウス」の他に、市の西部と東部に1か所ずつ新規に設置しました。



出張ながくてエコハウス（西部）



出張ながくてエコハウス（東部）

令和5年度事業

(1) 脱炭素の暮らしと地域づくり

ながくてecoチャレンジ2023

1 概要

市民に環境に配慮して生活にチャレンジしていただき、目標を達成した方に、環境によい賞品を提供する事業

2 取組内容

省エネ行動の項目ごとに1日1ポイントが付与されます。

〔省エネ行動の例(1行動につき1日1ポイント)〕

- ・一日、自家用車・バイクを使わずに生活した。
- ・使わない部屋の照明は、主電源をオフにした。
- ・冷蔵庫の中にもものを詰め込みすぎない(7割程度まで)。

3 期間

エントリー受付期限 令和5年7月31日(月曜日)

チャレンジ期間 令和5年6月1日～11月30日

4 エントリー件数

281件



省エネ家電購入費補助金(買替え)

1 概要

電気料金高騰の影響緩和、環境に関する行動変容や意識改革を図ること、また、気候変動の緩和と市内経済の活性化に寄与することを目的として、省エネルギー性能を有する家庭用電化製品の買替えを行った者に対して、その経費の一部を補助します。

2 補助金予算額

12,000,000円 予算の範囲内で、先着順。

3 補助対象となる家電製品

統一省エネラベルにおける省エネ性能(多段階評価点)3.0以上のエアコン(目標年度2027年度)、電気冷蔵庫(目標年度2021年度)

4 補助金額

下記のいずれか低い方の額となります。

- ・買替え後の家電製品の省エネ性能を示す星の数(小数点以下は切り捨て) × 10,000円
- ・補助対象経費の50%相当額(1,000円未満切り捨て)

5 期間

買い換え設置期間: 令和5年8月1日(火)から令和6年2月29日(木)まで
申請受付期間 令和5年8月14日(月)から令和6年2月29日(木)まで



ラベルの例

職員によるノーカーweeeeeekの取組

1 概要

長久手市職員が毎月一週間、自主的に自動車での移動を控えることによって通勤車両、公用車から発生するCO₂の排出量の削減を目指します。

(1) weeeeeek

week(週)、enjoy(楽しむ)、exercise(エクササイズ)、economy(エコノミー)、earth(地球)、ecology(エコロジー)、keep(保つ)の頭文字

(2) ノーカー対象車両

ア 通勤車両

イ 公用車

(3) 強化月間

5月、6月、10月、11月

2 削減目標

月3t、年間36t(距離にして月24,000km)

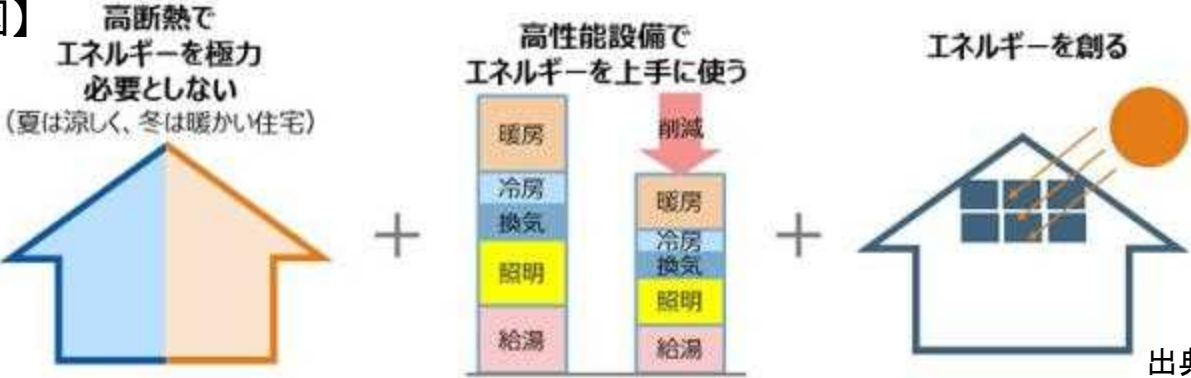


住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助事業

個人居宅に新たに設置する地球温暖化対策設備に対する補助金

対象機器	補助額(最大)	R4実績	R5見込
一体的導入(①又は②の同時設置に対して補助を行う。 ①太陽光発電施設・HEMS・蓄電池 ②太陽光発電施設・HEMS・V2H)	100,000円	10件	8件
家庭用エネルギー管理システム(HEMS)	10,000円	14件	7件
リチウムイオン蓄電池	50,000円	15件	14件
電気自動車等充給電設備(V2H)	50,000円	0件	1件
ZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス) ※一体的導入に対する上乗せ加算	50,000円	1件	3件

【ZEHのイメージ図】



出典: 資源エネルギー庁ウェブサイト

EVバスの導入(Nバス)

市内を走るNバスを、環境に配慮したバスにします。

イメージ図

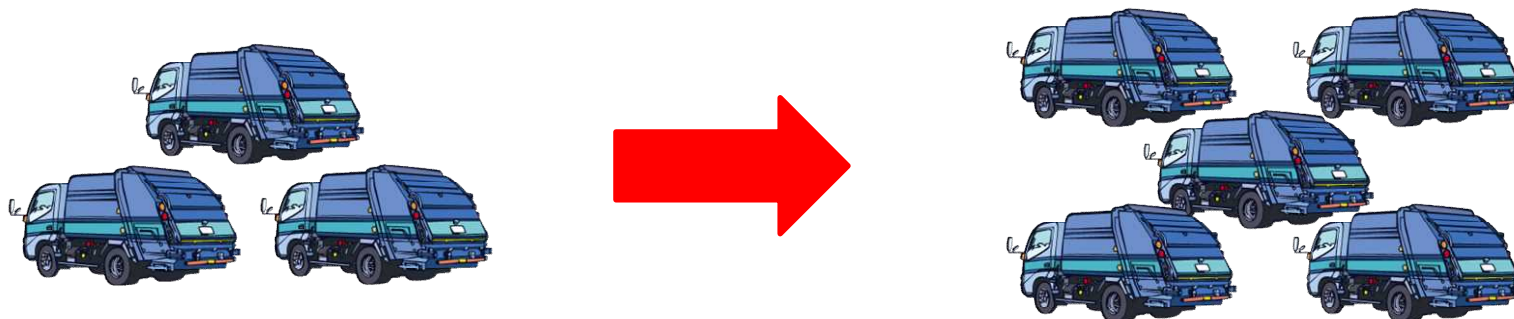
- 1 名 称
小型バス（電気バス）
- 2 数 量
1台
- 3 導入時期
令和5年度末
- 4 二酸化炭素排出削減効果
約40% 削減



(2) 循環型のくらしと地域づくり

① ごみ収集車両の増車

- 1人1日あたりのもえるごみの量や、世帯増によるごみの総量の増加により、収集時間に遅れが出ています。遅いところでは午後4時前後の収集になっています。
- 1地区あたりの収集車の台数を3台から5台に増車することで収集時間を大幅に短縮します。



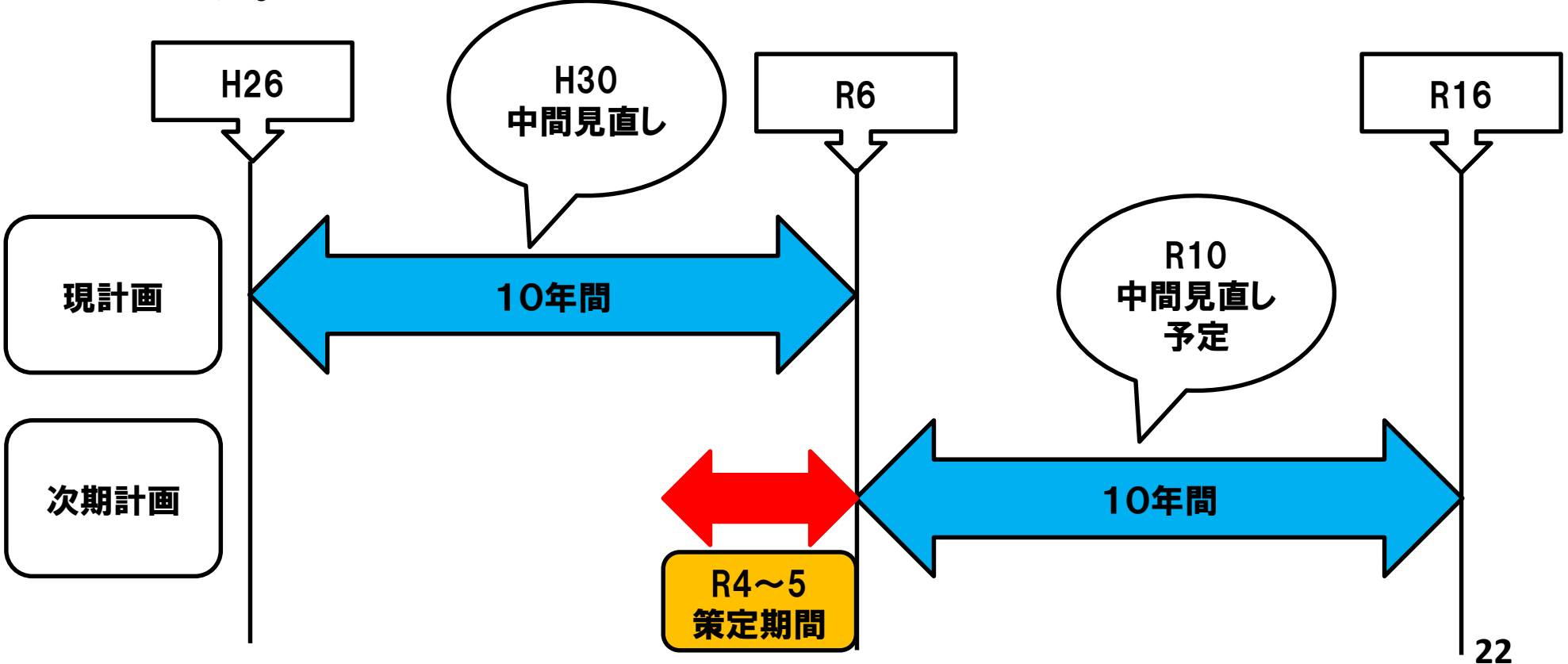
② ペットボトルの水平リサイクル

本市・瀬戸市・尾張旭市の三市協働で、豊田通商(株)・サントリーグループとペットボトルからペットボトルに再生する「ボトルtoボトル」という水平リサイクル事業に取り組みます。



③ 一般廃棄物処理基本計画の策定

現在の一般廃棄物処理基本計画が令和5年度末で計画期間満了となるため、令和4年度から2か年かけて次期計画を策定しています。



(3)自然共生の暮らしと地域づくり

⑧地域、企業、学生等が主体となった生物多様性保全活動の実践

●令和5年度湿地サミット出席報告

瀬戸市で開催された第30回湿地サミットに出席し、瀬戸市の湿地保全の現状について学びました。

●概要

- 【日 時】 5月23日(火)
【場 所】 瀬戸市文化センター、
屋戸湿地及び筋湿地群
【内 容】 第1部 講演
① 瀬戸市周辺の湿地の概要と
変遷について
(飯尾俊介先生)
② 屋戸湿地の保全及びその効果について
(名工大 増田理子教授)
③ 湿地保全について
(愛知県 自然環境課)
第2部 現地散策
海上の森



重点施策⑦ 豊富な生き物が生息する長久手の価値の『見える化』

● 東小学校ビオトープづくり

令和4年度に行った環境学習会で児童に書いてもらった絵を元に、ビオトープづくりに向けたイベントを開催します。



(4)安全・安心のくらしと地域づくり

重点 施策 ⑨ 良好な生活環境の形成と見える化

●ポイ捨てや犬フン対策として誰でも分かりやすい周知・啓発

- ・他市町村の有効な看板の例の調査
- ・現在使用している啓発看板の改善を検討
- ・地域が主体的に啓発していくことのできる仕組み検討

●地域単位での美化活動等が活発に行われるよう支援制度の検討

- ・個人の美化活動等は、「いいね賞」という表彰制度がある。
- ・地域、企業、団体が行う地域美化活動等を推進する仕組みを検討する。

重点 施策 ⑨気候変動の影響の情報収集、適応策の研究と見える化

●適応策の研究を続ける

- ・気候に関する専門家らと連携し、長久手市の気候の変化について注視する。

●市内の温暖化の影響について、各部署からヒアリングをして把握に努める

- ・保育園、小学校、農業、防災担当部署等から、温暖化が原因として考えられる課題を聞きとり、今後の適応策の検討材料とする。

(5)その他

犬・猫のマイクロチップ装着費用の補助

犬・猫の所有明示を推進するため、マイクロチップを装着する費用の一部を助成を
6月1日から開始しました。

補助金額 1頭につき1,000円まで

実施状況

犬 2匹

猫 10匹



環境省ホームページより



